学校番号	T3003

平成 31 年度　理科

教科	理科	科目	科学と人間生活	単位数	2	年次	1
使用教科書	科学と人間生活　新訂版（実教出版）						
副教材等	授業プリント、視聴覚教材等						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・私たちの日常生活を、いつもとは異なる視線で観察し、そこにある科学的な現象に興味を持ってもらえるようになると嬉しいです。

・授業を通して習ったことと、あなたたち自身が知っていることを総合して“論理的に考える力”を身につけてもらいたいと思います。考え出したものが「あっている・間違っている」にとらわれることなく、自由に考えていくという態度を身につけてほしいと願っています。

2　学習の到達目標

・科学の原理や法則が、科学技術として日常生活にどのように利用されているかについて理解する。

・私たちを取り巻く自然に対する知識や理解を深め、科学技術の発達による自然現象の利用や、現在においても人間の力が及ばない自然現象について理解する。

・将来にわたって発展する科学が、地球環境や人間にもたらす影響について考える姿勢を持つ。

・身の回りの科学現象に興味を持ち、探求する姿勢を持つ。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:観察・実験の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	身の回りで起こる科学的現象について、興味・関心を持つことができる。また、興味・関心を持ちながら学習に取り組むことができる。	科学的現象を論理的に考え、自分の考えをまわりの人や教員に積極的に伝えることができる。また疑問に思ったことを調べたり、質問したりすることができる。	観察した現象を正確に書き表して記録することができる。安全を確認しながら、指示された操作を確実に行うことができる。 実験結果をわかりやすくまとめることができる。	身の回りで起こる科学的現象について、基本的な概念や原理・原則を理解できている。また、人に説明でき、プリントにまとめられる。経験したことのない現象を理論的に考えて結果を予想する。
評価方法	学習状況 授業プリント 授業での質問や発言 授業態度	学習状況 授業プリント 授業での発表や発言 定期考査	学習状況 授業プリント 観察・実験中の態度と正確さ 定期考査	学習状況 授業プリント 実験・観察の記録 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に 5 段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	生命の科学	微生物とその利用	○	○		○	・微生物が発見される過程について理解する。 ・微生物と病気、食中毒との関わりについて関心を持つ。 ・微生物が食品や医療に利用されることについて関心を持ち、その重要性について理解する。 ・顕微鏡の操作を確実に行い、観察物を見たままにスケッチすることができる。	学習状況 授業プリント 実験・観察 定期考査
		顕微鏡の使い方と観察	○	○	○			
	宇宙や地球の科学	身近な天体と太陽系における地球	○	○	○	○	・太陽系にある天体について理解する。 ・夜空に見える星や星座について関心を持ち、調べ方について理解する。	学習状況 授業プリント 実験・観察 定期考査
	物質の化学	食品と衣料	○	○		○	・五大栄養素の特徴と食品に含まれる添加物について理解する。 ・身近にある材質の特徴をまとめることができる。	学習状況 授業プリント 実験・観察 定期考査
後期		材料とその再利用	○		○	○		
	光や熱の科学	光の性質とその利用	○		○	○	a：光の屈折やスペクトルなどの性質について関心を持つ。 b：日常世活における電磁波の重要性について理解する。 c：化石燃料を用いたエネルギーの変換と環境に与える影響について考えられる。	学習状況 授業プリント 実験・観察 定期考査
		熱の性質とその利用	○	○		○		

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:思考・判断・表現
c:観察・実験の技能 d:知識・理解

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。